

環境調査結果のお知らせ

令和8年7月16日9時から浦ノ内湾の環境調査を実施しました。

概況

検鏡の結果、魚類に対して有害な**カレニア・ミキモトイ**が最高で165 cells/mL、**シャットネラ**属が最高で650 cells/mL、**タカヤマ**属が最高で27 cells/mL確認されました。**シャットネラ**属は湾内全域で漁業被害の発生が強く懸念される警戒基準値（100 cells/mL）を、**カレニア・ミキモトイ**は光松漁場で注意基準値（100 cells/mL）を上回っていますので、十分注意してください。

また、湾内全域の表層における水温が30℃に達していますので、併せて注意してください。

調査点 (透明度) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン			
	深度	水温	塩分	溶存酸素	カレニア・ ミキモトイ	シャットネラ 属	タカヤマ 属	ハプト藻
	(m)	(℃)		(mg/L)				
A 鳴無 (3m) 【09:30】	0	30.9	26.6	7.8	2	0	0	-
	1	29.2	28.1	6.9	2	1	5	-
	2	26.9	28.9	4.7	7	10	1	-
	5	25.2	29.4	1.6	19	380	3	-
	底層 9	24.5	29.8	0.0	0	200	0	-
B 中学校前 (3.2m) 【09:42】	0	30.7	26.5	7.9	12	0	27	0
	1	30.1	27.4	7.8	12	0	17	-
	2	27.6	28.7	7.0	3	6	19	0
	3	26.5	29.3	7.8	3	60	2	-
	4	26.6	29.7	8.8	3	310	1	-
	5	25.8	29.7	8.0	25	290	10	0
	7	25.5	30.0	2.0	50	440	4	-
	10	24.8	30.1	0.1	3	650	6	0
	底層 12	24.4	30.1	0.0	0	170	2	0
C 目ノクソ (3.8m) 【09:57】	0	30.5	26.8	8.3	4	1	6	-
	1	30.2	27.1	8.4	3	5	5	-
	2	27.8	29.1	9.5	8	41	21	-
	5	26.9	30.1	8.2	53	300	13	-
	10	26.0	30.5	3.7	1	330	0	-
	底層 15	24.6	30.6	0.3	0	500	0	-
D 光松 (3.4m) 【10:17】	0	30.3	27.3	8.9	4	0	12	0
	2	27.9	29.4	9.8	1	620	6	0
	4	27.5	30.1	9.7	8	560	5	-
	5	27.1	30.2	9.0	165	415	15	0
	10	26.2	30.6	4.6	1	360	9	0
	底層 16.5	24.4	29.3	0.0	0	330	20	0

調査点 (透明度) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン			
	深度	水温	塩分	溶存酸素	カレニア・ ミキモトイ	シャットネラ 属	タカヤマ 属	ハプト藻
	(m)	(℃)		(mg/L)				
E 大鹿 (3.8m) 【10:26】	0	30.4	27.1	9.3	2	2	1	-
	1	28.8	28.5	9.6	5	2	7	-
	2	27.9	29.3	11.0	6	64	11	-
	5	27.0	30.4	7.7	65	275	6	-
	10	26.0	30.7	3.3	1	340	1	-
	底層 16	24.4	30.8	0.0	0	99	5	-
F 水試小割前 (3.9m) 【10:36】	0	29.9	28.0	8.8	4	2	6	0
	1	29.7	28.0	8.9	0	0	14	-
	2	29.5	28.2	9.0	10	4	4	0
	5	27.4	30.8	7.8	35	236	7	0
	底層 8.5	27.3	31.0	6.6	3	97	2	0

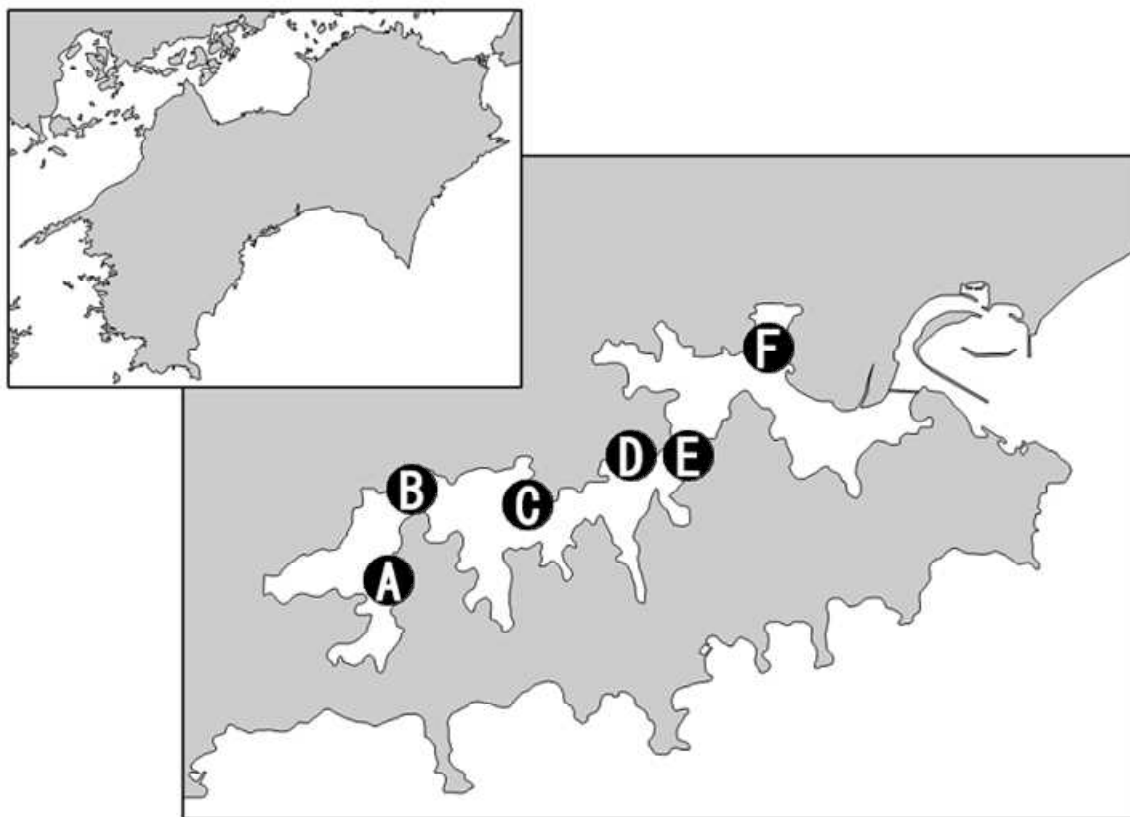
参考：有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準

有害プランクトン	被害	注意基準（※1）	警戒基準（※2）	主な赤潮発生時期 ※3
				浦ノ内湾
カレニア・ミキモトイ	魚類等のへい死	100 cells/mL	1,000 cells/mL	5～8月
シャットネラ属	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	6～8月
タカヤマ属	魚類等のへい死	—	10,000 cells/mL	8～9月

※1 注意基準：餌食いの悪化、警戒基準に達する恐れのある密度

※2 警戒基準：魚類及び二枚貝のへい死 並びに 二枚貝の毒化が想定される密度

※3 あくまで目安なので、水産試験場・漁業指導所の広報や養殖魚の状態に応じて、慎重な養殖管理をお願いします。



A: 鳴無

B: 中学校前

C: 目ノクソ

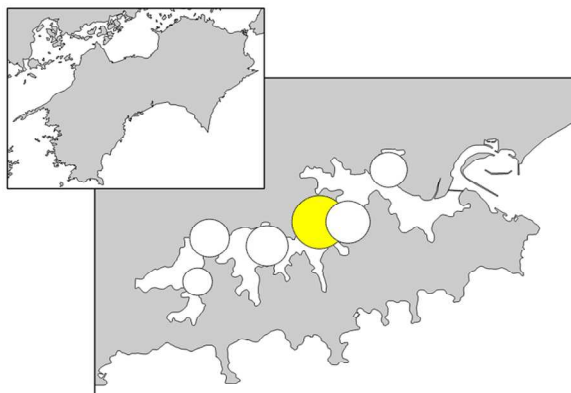
D: 光松

E: 大鹿

F: 水試小割前

カレニア・ミキモトイ

最大細胞密度



シャットネラ属

最大細胞密度



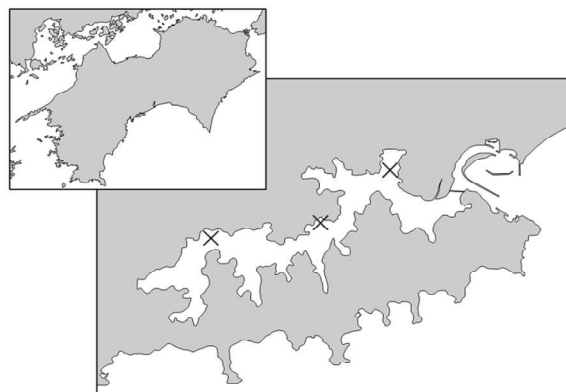
タカヤマ属

最大細胞密度



ハプト藻

最大細胞密度



凡例

プランクトンの細胞密度を示す円の大きさ

円のサイズが大きいくほど、プランクトンの数が多いので注意してください。



注意・警戒を示す円の色

黄・赤色の円が確認された場合は、魚介類に悪影響が生じる可能性がありますので、注意してください。
基準値は、「参考：有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準」を参照ください。

注意基準の値以上



警戒基準の値以上

